

TOKYO METROPOLITAN INDUSTRIAL TECHNOLOGY RESEARCH INSTITUTE

TIRI NEWS 3

都産技研から未来へ、先端技術情報を発信

2015 Mar.



特集 製品化・事業化事例

▶ **都産技研の技術を活用した成果展開**

製品化・事業化事例

都産技研の技術を活用した 成果展開

都産技研の技術を活用して課題解決に
つながった成果をご紹介します



都産技研は、毎年8千社以上のお客さまにご利用いただいております。依頼試験、機器利用、オーダーメイド開発支援などの製品開発支援事業や、基盤研究、共同研究などの研究開発事業により、数多くの製品開発を支援しています。

今回は、都産技研の10分野に渡るブランド試験をはじめとした依頼試験による品質評価を活用した事例、お客さまと都産技研で共同研究を進めている事例、都産技研の保有する特許を活用した事例など、計8件をご紹介します。

依頼試験では、高品質な試験評価に加え、研究員の専門知識をご提供しています。今回ご紹介する事例においても、改良品について最適な製造条件の指針をアドバイスするなど、お客さまの技術的な課題解決につながっています。共同研究の事例では、技術相談をきっかけに、機能特性に関する評価方法の開発など、さらなる品質向上に向けた研究開発を行っています。

お客さまの「こうしたい」「こうだったらいいな」というニーズをぜひお聞かせください。都産技研が課題解決の糸口をご提供します。



経営企画室長
瓦田 研介

都産技研では、中小企業の皆さまの技術支援にとどまらず、製品

開発や新技術開発をサポートすることによって、下請け型企業から製品開発型企業への経営革新を強力に支援しています。製品開発に必要な最新鋭の設備を計画的に導入するとともに、研究員の技術レベルの向上に取り組んだ結果、毎年多くのお客さまが製品開発に成功しております。

都産技研は、中小企業の製品開発支援を今後も強化してまいりますので、皆さまのご利用を心よりお待ちしております。

contents

■特集 製品化・事業化事例

1 会話を聞き取りやすくする難聴者用スピーカーの開発支援	3
2 防カビ効果のあるコーティング剤の開発支援	3
3 美顔器の電極部分表面の耐摩耗評価支援	4
4 太陽電池モジュールの改良支援	4
5 インプラントドリル識別用カラーリングの薬事認証取得支援	5
6 小型衛星搭載小型カメラコントロールユニットの開発支援	5
7 LEDライト付き防犯ブザーの開発支援	6
8 ベッドランプシェードの量産化支援	6
平成27年度共同研究(第1回)募集案内	7
設備紹介 メタルハライドランプ式促進耐候性試験機	8
MTEP専門相談員紹介 世界に勝つものづくりのコツ 第12回	9
多摩テクノプラザ紹介	10
INFORMATION	11
EXPERTS/TOPICS	12

表紙の写真 No.24

難聴者用スピーカー

表紙の写真は、今回の製品化・事業化事例特集で紹介している難聴者用スピーカー(コミュニケーション・サポートシステム COMUJOON)です。企業の方が都産技研に技術相談に来られ、試作品の性能評価をするためにオーダーメイド開発支援を行いました。そこからさらなる高性能化を目指して技術開発を行うべく共同研究に至り、製品化が実現しました。3ページでもご紹介していますので、ご覧ください。



製品化・事業化事例 1

活用した
支援メニュー

技術相談

依頼試験

オーダーメイド開発支援

共同研究

会話を聞き取りやすくする難聴者用スピーカーの開発支援



コミュニケーション・サポートシステム COMUOON

製品の特徴

- ◆難聴者との対面会話に用いるスピーカーシステム
- ◆病院での診療時や受付窓口、難聴児の語学学習などに使用

都産技研の支援内容

- ◆音声の聞こえやすさの評価および構造について技術相談
- ◆スピーカーシステムの音響性能評価(距離減衰、周波数特性、指向特性測定)
- ◆被験者による音声明瞭度試験(語音弁別能試験)
- ◆聞こえやすさの向上を目的とした共同研究の開始

販売開始時期 平成24年12月

販売価格 195,000円(税別)

販売数量 700台

企業名 ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

URL <http://u-s-d.co.jp/>

事業内容 ●聴こえ支援機器の設計・開発・販売
 ●各種店舗、建築物および室内空間のサウンドデザイン
 企画制作並びにコンサルティング業務
 ●スマートフォンアプリケーション設計・開発

製品化・事業化事例 2

活用した
支援メニュー

依頼試験

防カビ効果のあるコーティング剤の開発支援



プラチナコーティングのエコロテックス

製品の特徴

- ◆抗菌性と耐久性を備えたプラチナ成分に、光触媒・無光触媒・シルバー成分を配合した最新コーティング剤
- ◆カビ・ウイルス・臭い・外壁の汚れ等の有害物を分解・浄化
- ◆住宅をはじめとするさまざまな住環境に加工可能

都産技研の支援内容

- ◆依頼試験により、製品の加工サンプルにおいて防カビ性能を検査し、カビの生育抑制作用を確認
- ◆本製品が住環境の防カビ対策に有効であることを都産技研での試験結果によって示し、住宅販売会場や企業等で活用
- ◆製品化事例として、本部において常設展示

販売開始時期 平成24年10月1日

販売価格 オープン価格

販売数量 非公開

企業名 株式会社エコロテックス

URL <http://www.ecolotex.co.jp/>

事業内容 環境対策分野における製品の開発・製造・販売

製品化・事業化事例 3

活用した
支援メニュー

技術相談

依頼試験

機器利用

美顔器の電極部分表面の耐摩耗評価支援



アップスティック（美顔器）

製品の特徴

- ◆肌の表面をケアするマイクロカレントと複合高周波を交互に出す「ダブルケアプログラム」を採用した美顔器
- ◆1分間に約250回の筋肉収縮運動を行う特許取得の複合高周波「ダブルインパクト波形」で筋肉全体を刺激

都産技研の支援内容

- ◆皮膚と接触する電極部分表面の摩耗試験を機器利用により実施
- ◆摩耗試験後、最表面の皮膜厚さについて、未使用のものと蛍光X線定性測定により比較
- ◆指定された試験方法ではほぼ無摩耗であるというデータを短期間で提出

販売開始時期 平成24年1月

販売価格 39,800円(税別)

販売数量 非公開

企業名 株式会社リッコー

URL <http://www.i-ricco.com/>

事業内容 ●電位・温熱組合せ家庭用医療機器、高電位治療器 等の製造
●医療機器・美容健康関連商品の開発

製品化・事業化事例 4

活用した
支援メニュー

技術相談

依頼試験

太陽電池モジュールの改良支援



住宅用CIS薄膜型太陽電池

製品の特徴

- ◆銅(Cu)・インジウム(In)・セレン(Se)等を混合した化合物半導体による太陽電池
- ◆一般的に使用されるシリコン系太陽電池に比べ安価
- ◆吸収できる光の波長領域が広く、高変換効率を実現

都産技研の支援内容

- ◆含有成分の深さ方向分析を実施
- ◆上記分析の評価のため、妥当な測定条件を決定
- ◆得られた結果から含有成分の深さ方向分布と発電効率の関係を検討、最適な製造条件の指針をアドバイス

販売開始時期 平成17年

販売価格 283,000円/kW

販売数量 累計2GW(平成26年)

企業名 ソーラーフロンティア株式会社

URL <http://www.solar-frontier.com/jpn/>

事業内容 太陽電池の製造・販売・輸出

製品化・事業化事例 5

活用した
支援メニュー

技術相談

オーダーメイド開発支援

インプラントドリル識別用カラーリングの薬事認証取得支援

インプラントドリル識別用
アルマイトカラーリング

ドリルに装着されたもの

製品の特徴

- ◆ 口腔インプラントを埋入する際に使用する専用のドリルツール
- ◆ 器具の取り違いによる重大事故を防止するため、インプラントのサイズに見合ったドリルの識別用にカラーリングを装着

都産技研の支援内容

- ◆ 薬事認証機関の解釈変更により、カラーリングの着色剤の薬事認証を取得しなければ販売が継続できない状況下において、技術相談を実施
- ◆ 精密天秤を用いて着色剤重量を測定し、安全性の検証情報として提供

販売開始時期 平成2年より販売中。ただし今回の
新薬事対応品は平成26年12月からの発売

販売価格 4,000円～8,000円

販売数量 2,000本/月

企業名 株式会社デンテック

URL <http://www.dentech.co.jp/>

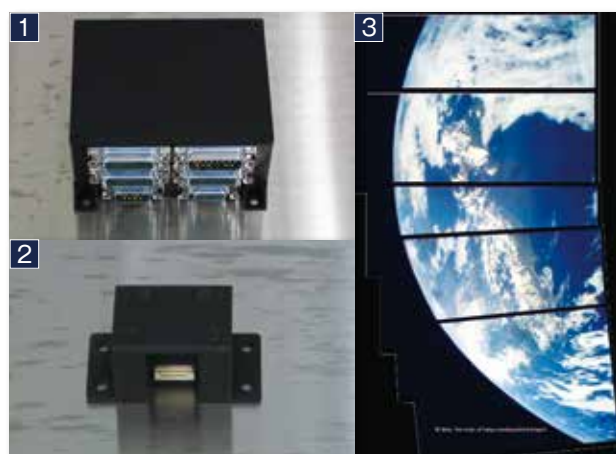
事業内容 歯科医療用器具の製造・販売

製品化・事業化事例 6

活用した
支援メニュー

依頼試験

小型衛星搭載小型カメラコントロールユニットの開発支援



1 ほどよし3、4号搭載小型カメラコントロールユニット
 2 ほどよし3、4号搭載小型カメラ
 3 軌道上での撮影画像

製品の特徴

- ◆ 1機の衛星にカメラヘッドを6個搭載し、衛星の周囲をモニターすることが可能
- ◆ 画像サイズ: 720×520pixel (VGA)
- ◆ 広い視野角(55deg)
- ◆ 撮影モードを選択可能
 - 低速撮影モード(1秒間に1枚撮影)
 - 高速撮影モード(1秒間に4枚撮影)

都産技研の支援内容

- ◆ 振動試験により耐久性評価を実施

販売開始時期 受注生産品

販売価格 受注生産品

販売数量 受注生産品

企業名 次世代宇宙システム技術研究組合

URL <http://www.nestra.jp/>

事業内容 衛星技術・製品等の研究開発

製品化・事業化事例 7

活用した
支援メニュー

オーダーメイド開発支援

LEDライト付き防犯ブザーの開発支援



LEDライト付き防犯ブザー

製品の特徴

- ◆音量92dBの大音量ブザー
- ◆白色LEDライト付き
- ◆非常時にも普段使いにも大活躍のブザー、携帯にも便利

都産技研の支援内容

- ◆LED光出力(電池駆動)について、連続点灯時の光出力に対する時間特性試験を実施

販売開始時期 平成26年9月

販売価格 1,680円(税別)

販売数量 5,000個

企業名 株式会社アスカ

URL <http://www.asmix.co.jp/>

事業内容 パーソナル&事務機器製品の開発・製造・販売

製品化・事業化事例 8

活用した
支援メニュー

技術相談

依頼試験

機器利用

オーダーメイドセミナー

実地技術支援

べっ甲ランプシェードの量産化支援



べっ甲ランプシェード

製品の特徴

- ◆べっ甲のシンボルマークである六角形をモチーフにしたランプシェード
- ◆べっ甲の熱に弱い点を、低発熱のLEDライトを使用することにより克服

都産技研の支援内容

- ◆都産技研が東京鼈甲組合連合会と共同開発したべっ甲ランプシェードを支援企業へ実施許諾契約
- ◆量産化に向けて電装部やフレーム部分の構造の開発、製造工程の検討、販売先の計画など事業化に向けて支援

販売開始時期 平成27年3月

販売価格 非公開

販売数量 非公開

企業名 有限会社有明電装

URL <http://www.ariake-d.co.jp/>

事業内容

- 調光器の設計・開発・生産・販売
- 海外旅行者向け電気製品の企画・設計・生産・販売
- 無機ELシート用電源の設計・開発・生産・販売

平成27年度共同研究(第1回)募集案内

～製品化・事業化を目指す共同研究～

都産技研では、企業や大学・業界団体から共同研究のテーマを募集し、相互に経費と課題を分担して新製品や新技術の開発を目的とした研究を実施しています。募集は年2回実施しており、今回は第1回目の募集です。事前に都産技研の技術相談や依頼試験などの支援メニューをご利用され、担当職員とご相談の上で共同研究実施の準備が整ったものが対象になります。研究成果からは数多くの新製品や特許が生まれていますので、本事業をご活用ください。

- 受付期間：平成27年4月2日～10日(土・日曜日は除く)
- 研究期間：平成27年5月1日～平成28年3月31日
- 採択テーマ数：20件程度
- 選考方法：書類および面接審査

※面接日は平成27年4月20日(月)、21日(火)、22日(水)を予定しています。

★詳細は都産技研ホームページ(<http://www.iri-tokyo.jp>)をご覧ください。

■なお、都産技研の技術シーズについては、「技術シーズ集」をご覧ください。

「技術シーズ集」は都産技研ホームページでも公開しています。

<http://www.iri-tokyo.jp/joho/kohoshi/seeds/index.html>



【技術内容についてのご相談】	技術経営支援室 総合支援窓口(本部)	TEL 03-5530-2140
【申請書類についてのご相談】	開発企画室(本部)	TEL 03-5530-2528

共同研究開発室のご利用について

都産技研では、共同で研究開発を実施しようとする中小企業等が、実験や研究のスペース確保が困難な場合に活用できるよう、共同研究開発室を設置しています。共用を原則としますが、6ヶ月以内の専用利用も審査により可能です。使用料はいずれも無料です。ただし、利用者が多い場合には分割利用となることがあります。ご利用をご検討の方は、お問い合わせください。

共同研究開発室の概要

所在地	本部(東京都江東区青海2-4-10)3階
面積	391室 89.03㎡(A、B室) 392室 59.24㎡ 393室 62.67㎡
電源設備	単相100V 125A 三相200V 150A(391室) 175A(392室、393室)
給排水設備	流し台
利用時間	原則として9:00～17:00
その他	共用の化学実験室や試作加工室も利用できます



お問い合わせ 技術経営支援室 製品開発支援ラボ<本部> TEL 03-5530-2315

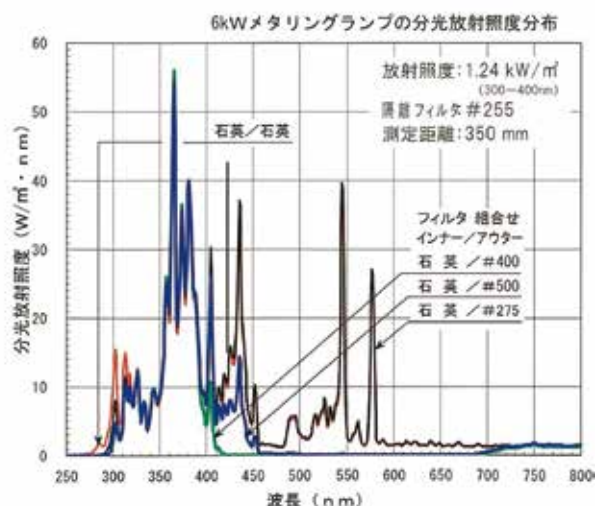
メタルハライドランプ式促進耐候性試験機

表面技術グループ

促進耐候性試験は、塗装品や印刷物、プラスチック等の屋内外での長期耐久性を短期間で評価するための試験です。都産技研本部の耐候性試験室には、多種多様な製品に対応するため、4種類の耐候性試験機を設置しています。今回は、その中でも特に促進性の高いメタルハライドランプ式促進耐候性試験機についてご紹介します。

試験機の概要

光、熱、水などの屋外での劣化因子を人工的に再現し、短期間で製品の長期耐久性を評価します。メタルハライドランプは、太陽光の約15～30倍の強大な紫外線量を照射します。そのため、他の促進耐候性試験に比べて促進性に優れ、早期に劣化現象を評価できます。



メタルハライドランプの分光放射照度分布
引用: スガ試験機(株) 製品カタログ

活用事例

◆製品開発や長期品質保証に活用

スピードが要求される製品開発や長期間の品質保証を目的に利用されています。自動車や橋梁、建築物、太陽電池などの長寿命化が求められている分野において活用されています。

◆評価項目

促進劣化により、外観や物性が変化します。劣化前の試料と比較することで耐久性を判定します。目視による検査だけでなく、他の評価装置を用いて、色・光沢などの光学的特性や強度などの機械的特性を数値的に評価します。



メタルハライドランプ式促進耐候試験機の外観

仕様

- 型 式: M6T (スガ試験機株式会社製)
- 放射照度: 1.4～2.0 kW/m² (295～450 nm)
- ブラックパネル温度: 30～85℃
- 槽内温度: 5～95℃
- 湿度: 30～70% (照射時)
50～95% (暗黒時)
- 試験項目: 照射、照射+降雨
暗黒、暗黒+結露
- 試料台: 440×180 mm
(中央部50×100 mmを除く)

※詳細はお問い合わせください。

利用料金例

- 依頼試験料金
1件1時間につき…3,795円
(中小企業の場合 2,190円)

※詳細はお問い合わせください。

世界に勝つものづくりのコツ

第 12 回

中小企業の海外展開を強力にバックアップする「広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）」。
ここでは、MTEPの専門相談員がよくある質問やサポート内容、海外展開のコツをご紹介します。

安全規格に押しよせる新しい流れ ～リスク分析を積極的に～

いし い みつる
石井 満 専門相談員

水曜日担当
専門：CEマーキング・機械指令・
低電圧指令・EMC指令



プロフィール

松下電器(株)(現パナソニック)にて、UL、CSA、欧州の安全規格、EMC等の製品安全、品質管理に従事。ドイツにてパナソニック製品のCEマーキング体制を構築。現在、CF Mediaコンサルタントとして製品安全、労働安全衛生、リスク分析、マニュアル作成等の支援を行っている。CEマークはEMC指令、低電圧指令、機械指令、圧力機器指令、医療機器指令などに対応可能。諸外国への認証、法規対応、CEマーキングおよび各国の取扱説明書作成支援なども実施。

▶ リスク分析で安全性が評価される時代

海外へ製品を輸出する際には、それぞれの安全規格に適合したもののづくりをしなければいけないという考え方が日本の企業にも定着してきました。しかし、規格に書いてあることを守りさえすれば良いと考えている方が多くいます。規格は、過去に起きた事故などの情報を基につくられており、あくまでもこの基準をクリアしていれば安全だとみなされるものです。そのため、将来起こりうる事故に対応しているわけではありません。ISOやIECといった国際規格では、将来起こりうる事故のリスクを軽減するためにも、メーカーが行ったリスク分析に基づいて製品の安全性を評価するように規格を改めています。

国際規格の変化はそれぞれの地域にも波及しており、CEマーキングもリスク分析を重視するようになってきました。また、日本の電気用品安全法でもリスク分析に基づいた安全評価を認める方向になっています。つまり、これからの時代のものづくりには、リスク分析がより不可欠になってくるのです。

▶ まずは製品の使い方を考える

リスク分析というと、日本の企業では構えてしまう方が多いのですが、それほど難しいことを要求しているわけではありません。ま

ず、その製品を、誰が、どういう環境で、どのように使うのかを考えることから始めれば良いのです。そうすれば、その製品の使い方が見えてきます。

そして、似たような製品が起こした事故の事例を収集していけば、自社で開発している製品がどのような問題を起こす可能性を秘めているのかがわかってきます。そこまで具体的に絞り込むことができれば、後は、その問題を設計による本質的安全対策で解決するのか、安全装置を付加して対策するのか、または必要に応じて警告ラベルや使用説明書でユーザーに注意喚起していくのかといった具体的な方法を検討することになります。

▶ 安全な製品をつくるために何ができるか

安全規格が要求しているのは、「製品は安全であること」だけです。そのため、規格そのものも不完全である可能性も視野に入れています。まず、規格ありきという姿勢を見直す必要があります。自社製品にリスクがあることを前提として、どの規格を使えば製品を安全にすることができるのか、その規格で十分かという考え方が必要になってきます。規格が要求している内容だけでは、真の安全を実現することはできません。足りない部分を自分で補う問題発見能力も問われているのです。

▶ 事例紹介

製品を輸出するために相談に来られた照明器具メーカーの方に、リスク分析が求められるヨーロッパの新しい指令について説明しました。その結果、リスク分析を行い、より安全な商品を開発できるように設計制度の変更を検討されるようになりました。

【中小企業の皆さまへ】.....

リスク分析は、製品を企画・設計する段階できちんと行う方が、最終的にコストが安くなります。MTEPに相談に来られる企業の方々は、現在製造している製品を輸出するために規格の認証を取りたいというスタンスの方が多く、リスク分析と聞くとコストがかかるという印象をもたれる方もいます。皆さまの会社では、設計段階でデザイン・レビュー、製造段階で品質会議等を実施していると思います。それぞれの工程のチェックポイントでリスク分析の視点を入れる(チェックリストを作る)だけで、リスク分析は可能です。一時的には手間やコストがかかるかもしれませんが、販売後に事故が起きてしまえば莫大な費用が必要になりますし、信用も失います。重大な事故によって失うものを考えれば、リスク分析のコストは安いものなのです。



お問い合わせ 輸出製品技術支援センター<本部> TEL 03-5530-2126

多摩テクノプラザ開設5周年記念 技術交流会2015、記念式典開催！

多摩地域の中小企業技術支援の拠点として多摩テクノプラザが開設したのは平成22年2月22日で、今年で5年目を迎えます。これを記念した技術交流会2015と記念式典を平成27年2月6日、パレスホテル立川で開催しました。約180名の皆さまにご参加いただき、大盛会となりました。

技術交流会2015は、近藤 幹也多摩テクノプラザ所長の「多摩テクノプラザの5年とこれから」で始まりました。この5年間でご利用者数が大幅に増加していること、EMCサイトの10m法電波暗室が平成25年に公設試験研究機関としてはじめてISO/IEC17025試験所認定をされたこと、イベント等を通じて地域の皆さまとの連携が進んでいることなどを紹介し、これからも技術支援に邁進することを誓いました。

「開発を加速する多摩テクノプラザ」のコーナーでは、繊維・化学グループが、参加者に記念品としてお渡しした「1秒タオル」の開発にも使われたタオルの性能評価事例、やわらかさと高いプリーツ製で高付加価値を実現した絹織物のプリーツ加工、シアン化合物を使わない安全性の高い経済的な金めっきの開発の3つの成果事例をご紹介しました。電子・機械グループからは10m法電波暗室を利用したCEマーキング取得の支援事例、都産技研の6部署が協力してLED照明の省エネシステムを1年間で製品化した事例、製作コストを削減した軽量のCFRP製環状ばねの開発について発表しました。会場内には、発表事例のほか、最近の多摩テクノプラザの研究成果をパネル展示しました。

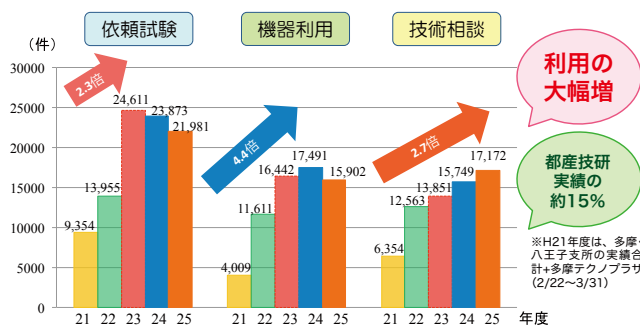
特別講演では、清水 幸夫氏((独)宇宙航空研究開発機構(JAXA))が、初代はやぶさが立て続けに起きたトラブルをどう乗り越えたかや『はやぶさ2』の進行状況などを豊富な資料とともに話されました。宇宙開発におけるリスクマネジメントのパートでは、経営やプロジェクトの参考にと皆さま熱心に聞き入られていました。

技術交流会2015に続く開設5周年の記念式典では、都産技研理事長やご来賓の挨拶、5周年記念ビデオの上映などを行いました。技術交流会2015の熱気をそのままに、参加者と職員の懇談・交流が深まったひと時でした。

多摩テクノプラザは、これからも新分野への挑戦など、地域の中小企業の皆さまとともに邁進します。ご利用、ご相談、お待ちしております！

多摩テクノプラザ主要事業実績推移

開所(H21)から現在(H25)



多くの来場者でにぎわう会場



研究成果を紹介するパネル展示



JAXA清水 幸夫氏による特別講演



片岡理事長による記念式典挨拶

第13回「勇気ある経営大賞」応募企業募集 ～求む！イノベーションを起こす中小企業～

「勇気ある経営大賞」は、東京商工会議所が主催する、厳しい経営環境の中で勇気ある挑戦をしている中小企業またはそのグループを顕彰する制度です。この度、第13回「勇気ある経営大賞」の応募企業を募集します。受賞企業の発表は9月、顕彰式典は10月を予定しています。現況を打破するものづくりや経営を実践されている多くの企業のご応募をお待ちしています。

制度概要

- 顕 彰 対 象 革新的あるいは創造的な技術・技能やアイデア、経営手法等により、独自性のある製品・サービスを生み出している中小企業またはそのグループ
- 賞 金 大 賞:200万円 優秀賞:50万円 特別賞:30万円
- 選考基準のポイント ①製品・サービス ②経営手法 ③チャレンジ精神 ④業績・財務状況
- 応 募 資 格 次の1、2のいずれにも該当する企業もしくは企業グループ(自薦・他薦を問いません)
1. 中小企業基本法に定める中小企業で未上場企業
2. 東京都に事業活動の拠点(支社、支店、工場、営業所、事務所等も含む)を置く企業
※ただし、一都八県(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・群馬県・茨城県・栃木県・山梨県・静岡県)に本社がある企業に限りません。なお、東京商工会議所の会員・非会員を問いません。
- 応 募 方 法 応募用紙に必要事項を記入の上、会社・事業に関する資料と併せて下記事務局まで送付
※応募用紙は、東京商工会議所の本部および支部窓口で配布のほかホームページからもダウンロード可
(事務局まで連絡いただければ郵送もできます)
- 募 集 締 切 平成27年3月6日(金)
- お 問 い 合 わ せ 東京商工会議所 中小企業部 TEL 03-3283-7644
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-1 丸の内二丁目ビル

第8回としまものづくりメッセ

としまものづくりメッセは、豊島区の基幹産業である印刷業をはじめ、精密機器、金属製品等の製造業や独自の技術を持った区内企業などがそれぞれ優れた製品や高い技術を一堂に展示する見本市です。5日・6日は、ビジネスセミナー、交流会などのビジネスマッチングを目的とした企画を、7日は一般の方向けに親子でも楽しめる体験教室などを予定しています。都産技研は主催者として参画しており、当日はブースを設けて事業をPRする予定です。皆さまの来場をお待ちしています。

平成27年3月5日(木)～7日(土) 10:00～17:00
(最終日は16:00まで)

- 会 場 サンシャインシティ展示ホールB(文化会館4階)
豊島区東池袋3-1-4
- 出展内容 都産技研の事業紹介
- 入 場 料 無料
- 小間番号 17

お問い合わせ 広報室＜本部＞ TEL 03-5530-2521

平成26年度地域連携シンポジウム 「産学公金連携で事業拡大」

城東支所は、「産学公金連携で事業拡大」と題した地域連携シンポジウムを開催します。都産技研と協定を締結した公的機関や研究機関、金融機関などと協力し、産学公金連携の取り組みを紹介するほか、基調講演では企業側の活用事例とその効果などをお話いただきます。新たな事業展開や拡大のヒントとなるシンポジウムですので、ぜひご来場ください。

平成27年3月17日(火) 13:30～17:00

- 会 場 東京都城東地域中小企業振興センター 大会議室
東京都葛飾区青戸7-2-5
- 参 加 費 無料(交流会17:30～19:00は3,000円)
- 共 催 (公財)東京都中小企業振興公社
- 後 援 関東経済産業局、葛飾区、東京商工会議所葛飾支部ほか
- プログラム 基調講演 (株)今野製作所 代表取締役社長 今野 浩好氏
参加機関による事業説明・支援事例紹介
情報提供コーナー など
- 参加方法 都産技研ホームページより申込書をダウンロードしていただき、FAXでお申し込みください。

お問い合わせ 城東支所 TEL 03-5680-4632

TIRI NEWS無料定期配送のご案内

TIRI NEWSの無料定期配送をご希望の方は、メールまたはお電話、FAXにてお名前とご住所を下記までご連絡ください。

連絡先: 広報室＜本部＞

TEL 03-5530-2521 FAX 03-5530-2536 E-mail koho@iri-tokyo.jp

このコーナーでは、都産技研の研究員をクローズアップしてご紹介します。研究員の人となりが分かることで、より都産技研を身近に感じていただきたいという思いから生まれました。どんな人が都産技研にいるのか、ぜひご覧ください。

「3D」をキーワードに ものづくり支援

今回ご紹介するのは、システムデザインセクターの小林 隆一さんです。小林さんは、ものづくりの現場で注目されている3Dプリンターをはじめとする3Dデジタルものづくり支援を担当しています。お客さまから数多くの依頼が寄せられており、忙しい毎日を過ごしています。

●主な仕事内容は？

主に、ナイロン粉末造形機を用いた試作支援や3Dプリンターに関する技術相談を行っています。他にも3Dデジタイザーの機器利用対応、3D-CAD入門セミナーの講師を務めるなど、「3D」をキーワードに業務に取り組んでいます。

●小林さんが日頃心がけていることは？

都産技研を利用していただいた方に、私たちの技術やノウハウをできるだけ共有してもらえように心がけています。都産技研をお客さまの仕事のサイクルに組み込んでいただき、都産技研をうまく活用してもらえるように考えながら日々業務に取り組んでいます。

お問い合わせ システムデザインセクター＜本部＞ TEL 03-5530-2180

Introduction



システムデザインセクター
研究員
小林 隆一

粉にまみれながら

運用している造形機はナイロン粉末を材料として扱います。粉末なので取り扱うときは当然ながら舞いますし、作業着に付着してしまいます。作業中は、写真のようにマスクと帽子を着用しています。粉にまみれながらも、造形機でできあがるモノの高精度化について考えていたりします。

TOPICS

トピックス

クルマの軽量化技術展に出展



都産技研ブースの様子

平成27年1月14日～16日に東京ビッグサイトで開催された第5回クルマの軽量化技術展に出展しました。ブースでは、電子・機械グループが研究を進めている「曲げに強いサンドイッチコア材」などのご紹介をしました。車の軽量化技術は燃費向上に直結するため、8万5千人を超える来場者が集まり、会場は熱気に包まれていました。都産技研のブースでも、熱心に研究員に質問されるお客さまが目立ちました。

大学・大企業(特許・技術)説明会 開催



東京イノベーションハブでの事業等紹介



個別シーズ説明会

平成27年1月27日、都産技研や大学・大企業の特許や技術を中小企業の製品化や事業化につなげるための説明会が都産技研本部で開催されました。これは、経済産業省の「シーズ発掘事業」の一環として(一社)コラボ産学官と連携して行ったものです。都産技研が保有する特許シーズの紹介のほか、東京理科大学や富士通(株)など、信用金庫がおすすめる12機関25の特許・技術シーズを各発表会場にてご紹介しました。当日は130名を超えるお客さまにお越しいただきました。今後もさまざまな形で研究成果や技術シーズを発表する場を設けていきますので、ぜひ都産技研をご活用ください。